

2025-26 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530

よいことの
ために
手を取りあおう

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 宮崎 秀剛
幹事 佐藤 卓立
奉仕プロジェクト
委員会委員長 大平 謹一郎
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和 8 年 5 月 25 日(月) 第 30 回 通算第 1763 回例会

・ 例会日/月曜日 12:30 ・ 例会場/エフズサンパレス ☎ (024) 523-3899

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第 30 回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘

宮崎 秀剛 会長

◇ロータリーソング

「我らの生業」
ソングリーダー

西形 健吉 会員



◇四つのテスト唱和

宍戸 順一 会員



◇会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長



皆さま、こんにちは。先週は気温が 34℃まで上がったかと思えば、10℃まで下がったりしました。皆様の体調はいかがでしょう。今日も 29℃まで上がる予報です。

まずは嬉しいニュースです。昨日の大相撲夏場所において、小結の若隆景が優勝を飾りました。今朝の新聞記事をそのままご紹介します。

大関霧島 (30) と 12 勝 3 敗で並び、優勝決定戦で霧島に押し出しで勝利。2022 (令和 4) 年春場所以来、25 場所ぶり 2 度目の賜杯をつかんだ。戦後の本県力士で複数回の幕内優勝は初めて。25 場所ぶりの優勝は史上 3 番目のブランクとなった。右膝の大けがで東幕

下 6 枚目まで番付を下げた時期があり、幕下に転落した元幕内優勝力士が再び栄冠に輝くのは元横綱照ノ富士以来 2 人目。

不屈の闘志で、どれほど深い谷に落ちても諦めず、地道な稽古を積み重ね、再び頂点に立った若隆景の姿は、私たち福島市民に大きな勇気を与えてくれました。困難に直面しても前を向き続ける姿勢は、まさにロータリアンが大切にしている「超私の奉仕」の精神にも通じるものがあります。

私たちもクラブ運営や地域奉仕の中で、時に壁にぶつかることがありますし、時には意見がぶつかることもあります。しかし、そうした違いこそがクラブをより強くし、より良い方向へ導く原動力になります。互いの考えを尊重しながら、一歩ずつ積み重ねていくことで、必ず道は開ける——そのことを改めて教えてくれた出来事でした。

さて、本日は盛りだくさんのプログラムとなっております。

まずは、この度入会されました、東邦銀行西福島支店 支店長 大内重人会員による「新会員スピーチ」です。大内会員のご参加により、クラブの活動がさらに活気づくことを大いに期待しております。

そして、先週に引き続き、「クラブリーダーシップ・ラーニングセミナー」の参加報告、後半戦です。

「クラブリーダーシップ・ラーニングセミナー」とは、次期クラブ役員である会長・幹事をはじめ、クラブ運営に携わる皆さまが、リーダーシップやクラブ運営を体系的に学ぶための公式研修セミナーです。地区単位で開催され、年度方針の共有やクラブ運営計画づくりの場として、大変重要な位置づけとなっています。本日は、会長エレクト・次期幹事を含め、各委員会よりご報告をいただきます。

そして、「会員増強について」のクラブ協議会です。会員増強委員会 黒澤信之委員長よりお話をいただきますが、忌憚のないご意見をいただき、より良い方向へ進めるよう、皆さまと活発に意見交換をしたいと考えております。

今年度も残りわずかとなりました。

若隆景の復活優勝が示してくれたように、私たちも一人ひとりの力を結集し、次年度へと確かなバトンを

つないでまいりましょう。引き続き、皆さまのお力添えを心よりお願い申し上げます。

それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◇食事

◇幹事報告 佐藤 卓立 幹事

○お知らせ（例会変更等その他）

- 6/1(月)新旧合同理事会開催場所につきましては、決まり次第お知らせいたします。
- 次年度委員長の皆さまは年次計画書原稿を6/10(水)までにご提出くださいますようご協力の程よろしくお願いいたします。
- 本日全会員に「会員満足度アンケート」をお配りしました。6/10(水)締切となります。ご協力の程よろしくお願いいたします。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

久米 允彦 委員長



○宮崎秀剛会長

本日は盛沢山のプログラムとなっております。あと1か月、お力添え宜しくお願いします。

○黒澤信之会員

若隆景を応援してくださった皆様、有難うございました。

佐藤卓立幹事／寺島英樹会員／佐藤宗弘会員／大内重人会員／行方裕司会員／西形健吉会員／穴戸順一会員／高橋智弘会員／野尻榮一会員／大平謹一郎会員／高梨哲男会員／久米允彦会員

◇本日のプログラム

◆「新会員スピーチ」

東邦銀行西福島支店 支店長 大内 重人 会員



皆さまこんにちは。東邦銀行西福島支店の大内でございます。5月から前任の高根支店長に代わりまして、この歴史と伝統ある福島西ロータリークラブに入会させて頂きました。誠に光栄なことと思っております。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。私は昭和53年3月生まれの48歳で、福島市の丸子地区の出身、矢野目小学校および北信中学校卒業です。親がやっていた影響もあり中学・高校ともに卓球部に所属しておりました。

家族は妻と、子どもが3人おります。大学1年の長男と、下2人は二卵性の双子（男・女）で現在高校2年生です。長男が今年から北関東の大学に進学したのですが、3～4月は私の転勤と長男の進学・引越しで我が家はかなりバタバタしておりました。また、2年後からは、もしかすると大学生を3人抱えることになるかもしれないのですが、金銭面など含めあまり考えないようにしています。

趣味は、漫画のキャプテン翼などの影響もあり、子どもの頃から（見る専門ですが）サッカーが好きでJリーグ開幕当初から見ています。あとは、結婚して子どもが生まれてからはなかなか行けませんが、学生時代はアルバイトでお金を貯めて、ベトナムなど主に東南アジアに貧乏旅行をすることも好きでした。現在、休日は子どもの部活の送り迎えなどに費やされています。

続いて銀行での経歴を申し上げますと、2000年（平成12年）に入行し、本店営業部、本宮支店、総合企画部、須賀川支店、営業統括部、個人コンサルティング部を経験し、3月末からはじめて支店長として西福島支店に着任しました。直近の営業統括部と個人コンサルティング部にはトータル9年あまり在籍し、営業統括部では支店の新設・再開・移転などを担当し、仙台泉支店の開設や、震災で一時休業していた相双地区の浪江支店や富岡支店の支店再開などに携わりました。

後半の個人コンサルティング部は、個人のお客さま向けの金融商品（投資信託や保険など）を企画推進する部署ですが、最後の3年余りは野村證券様との業務提携に向けた折衝や体制の構築などに主に携わりました。

そうしたことで銀行員生活26年のうち、本部勤務が15年と半分以上になってしまっておりますが、自分としては営業店の仕事に非常にやりがいを感じております。と申しますのも、元々銀行に入った動機を申し上げますと、地元が元気になることに貢献したいと思ったからです。入行した2000年当時はバブルが崩壊し、福島市内も百貨店がいくつなくなるなど大変な時代だと学生ながら感じておりました。大学時代は仙台にいたのですが、福島に戻り、金融の面で企業を

お支えし、地元が元気になることに貢献したいと思い、銀行に入りました。

現在、現場の支店長という立場で地元が元気になることに尽力していくことはもちろん、このロータリー活動を通じて、地域や広く社会に貢献できていると感じております。まだまだ若輩者ではございますが、皆さまのお力添えを頂き、微力ながら福島を元気にしていければと思っております。

最後に銀行のことを若干申し上げます。東邦銀行では、現在、「金融サービスの枠を超えて、地域社会に貢献する会社へ」ということで、融資などの金融面のみならず、さまざまな面で「事業者様の事業価値向上」をサポートしていきたいとチャレンジをしています。東邦銀行各お取引店についても引き続きご愛顧いただければと存じます。

結びになりますが、改めて本日はこのような機会を頂きまして有難うございました。

これからも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げまして、私の新会員スピーチとさせていただきます。誠に有難うございました。

◆クラブリーダーシップ・ラーニングセミナー」参加報告

青少年奉仕委員会・RA 委員会・学友委員会

久米 允彦 会員



○青少年奉仕の IAC・RYLA・青少年交換プログラムについて

- ・CLLS や青少年奉仕セミナーの活用
- ・各クラブの訪問・卓話

○その他

- ・RYLA 研修会：
2027年3月27日(土)・28日(日)

ロータリー財団委員会

高橋 智弘 会員



○世界ポリオデーへのクラブの参加促進

○セミナー開催：2026年8月2日(日)

※社会・国際奉仕委員会合同開催

○地区内クラブへの卓話：卓話用パワーポイントデータ作成

○ガバナー月信へ年次基金、ポリオプラス寄付データ寄稿【年4回】

○PHS100名の入会促進、PPS150名の入会推進：
分区会長・幹事会の訪問

○ポリオ根絶活動情報の発信

米山記念奨学会委員会

高梨 哲男 会員



○2026-27年度目標

- ・米山記念奨学生受入未経験クラブへの受入支援
- ・学友委員会との連携
- ・寄付目標：
普通寄付5,000円/人 特別寄付10,000円/人の推進
- ・寄付ゼロクラブゼロの達成

○主な開催事業等

- ・米山記念奨学生の卓話研修(7月)
- ・カウンセラー研修会(8月)
- ・米山梅吉記念館研修旅行(9月)
- ・面接官オリエンテーション(11月)
- ・米山記念奨学生体験発表会(11月)
- ・書類選考(11月下旬)
- ・選考試験(12月)
- ・受入クラブ、カウンセラー選定(2月)
- ・米山記念奨学生修了式(2月)

・新米山記念奨学生オリエンテーション(4月)

幹事部会

宋戸 順一 会員



○クラブ幹事の役割について

早川 敬介 直前ガバナー

- ・幹事の責務はクラブの効率的な運営をサポートすることにある

①会長エレクトとの打合せ

②現幹事との打合せ

③会長および理事会と共にクラブ活動予定を確認

④引き継ぎのため後任幹事との話し合い

○RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)について

2026-27年度RLI委員会 町田 晃 委員長

- ・ロータリーについて学ぶ場
- ・異なる世代や経験を持つ会員が交流
- ・新しい気付きやアイデアが生まれる
- ・ロータリアンとしての成長およびクラブや地区の活性化につながる
- ・その他

8名による模擬RLIを実施し、参加体験し有意義な時間を過ごした

○RI組織規定・地区運営規定について

2026-27年度地区規定委員会 芳賀 裕 委員長

- ・組織規定(RI定款・RI細則・標準ロータリークラブ定款)は守るべきもの
- ・規定審議会:3年に1度の規定改正→クラブ定款・細則の改正
- ・地区運営規定:RI組織規定改正に伴い2025年7月1日改正→地区HP確認

○地区ラーニング委員会について

次期地区ラーニング委員会 右近 八郎 委員長

- ・ラーニング行事の支援
- ・他委員会との協力
- ・地区ラーニングファシリテーターとの協力

会長部会

寺島 英樹 会長エレクト



○会長部会において2026-27年度地区賦課金の改訂案について承認された

- ・35歳以上の会員:9,000円から10,000円
- ・35歳未満の会員:6,000円から7,000円
- ・35歳以上の新会員(7/2~10/1入会):4,500円から5,000円
- ・35歳未満の新会員(7/2~10/1入会):3,000円から3,500円
- ・青少年奉仕助成金と地区災害特別基金:それぞれ1,000円から500円に減額

○近年のロータリー会議は会員増強・会費など内向き議題が増加の印象

○本年度のCLLSにおいてセミナー欠席者が目立つ中、県北第一分区内では出席率が高く、参加されました会員の皆様に感謝申し上げます

◇閉会点鐘

宮崎 秀剛 会長

◇会報カメラ担当

佐藤 宗弘 会員